

- 1973年婚姻事件法から抜粋した下記の諸条文は、子どもの監護に関して直接関係するものとは言えないが、子どもの経済的支援に関するもの、および、子どもとはどのような属性を持っているのかについて規定しているので、子どもの面倒見（監護）・親責任と密接に関係すると思われるので参考までに掲載する。
- 参考のために原文を同時に掲載する。

1973年婚姻事件法：Matrimonial Causes Act 1973 (1973 c18)

- 第35条は親の子どもに対する責任の中で、扶養に関する紛争処理手続を規定したものである。

第35条 当事者が生存中の裁判所による合意変更手続

第1項 当面の生活費に関する扶養について合意があり当事者双方が当面イングランド・ウェールズに定住所または住所を有している場合、本条第3項によりいずれの当事者も裁判所または治安判事裁判所に対して、本条にいう決定の申し立てができる。

第2項 申し立てがなされた裁判所は、以下のいずれかの事項を確認した場合、

a号 すでになされた合意に含まれる経済に関する取り決めに関して事情が変更したとの理由により、もしくは、経済に関する取り決めが合意から除外されているという理由により（合意を形成したときには当事者により予測できなかった変更を含む）、合意の内容を異なるものに変更する、もしくは経済に関する取り決めを含めるように合意が変更されるべきであること、または、

b号 当該合意が家族としての子に関しての適切な経済的取りきめを含んでいないこと

裁判所は、本条第3項、第4項、第5項にしたがい、下記の方法で、当該合意書の変更を決定することができる。

i)、当該合意書にある経済に関する取りきめの変更もしくは取消を行うこと、または

ii)、申し立てた当事者もしくは家族としての子の利益のために経済に関する取りきめ条項を加えること

なお、変更を決定するにあたり、裁判所は、関連がある場合には、本法第25条第4項に記載される事項を含む諸般の事情を考慮しなくてはならない。その後は、当該合意は、決定によってなされた変更が当事者間で十分に考慮をした合意によってなされたものとして効果を生じるものとする。

第3項 治安判事裁判所は、前記本条第1項による申し立てについて、合意する両当事者がイングランド・ウェールズの住民であるか、少

なくともその一方が住民である裁判所管轄地域で裁判を行えるものと大法官により権限が与えられていない限り、申し立てを受理することもいかなる決定を出すこともできない。ただし、以下の場合を除く。

a 号 当該の合意が、当事者一方からの定期的支払い条項を含んでいない、当事者一方または家族としての子に対する扶養料の他方当事者による定期的支払いに関する挿入指示を含まない場合、

b 号 当該の合意が、当事者一方の定期的支払い条項を含み、当該の支払いの増額減額および終了に関する指示を含む場合

第 4 項 裁判所が、合意当事者の一方による扶養料の定期的支払いに関する合意の形成や保証のために条項を挿入することによって、本条にいう決定により合意の変更を決めた場合、または、裁判所が、当事者の合意により決められた当事者の一方からなされる扶養料の定期的支払を増額することによって、本条にいう決定により合意の変更を決めた場合、支払い、または場合によっては増額による追加的支払いは、決定によって変更された合意のもとでなされるものとする。ただし、そのときの条件は (term) は、下記の制限にしたがって裁判所が特定するものでなければならない。

a 号 支払いが確定しない場合、期間は、合意当事者の一方の死亡時または払いを受ける当事者の一方の再婚時またはシビル・パートナーシップの成立時までとする。

b 号 支払いが確定する場合、期間は、支払いをする者の死亡時または再婚時または、シビル・パートナーシップの成立時までとする。

第 5 項 裁判所が、家族の子への定期扶養料支払を合意した一方当事者による履行もしくは保証に関する条項を挿入することにより、または、一方当事者により履行または保証されるものと合意が規定する家族の子に対する定期扶養料支払いを増額 (rate) することにより、本条による決定によって合意の変更を決めた場合には、決定により変更された合意に従い、支払または上乘せ支払いが、子の利益のために履行されまたは保証されるための条件を定めるにあたって、裁判所は、前記本法第 29 条第 2 項および第 3 項*を、当該の決定が子のためになされた定期支払または定期保証支払決定であるとして、適用する (*年齢制限に関するもの)。

第 6 項 疑義を回避するために、本条または本法前記第 34 条は、扶養合意当事者の間で経済的な取り決めを含む決定、または手続きでかかる決定を申し立てる当事者の権利に関して他の法律により決定を求める手続きが開始している場合には、適用しない。

第 35 条 Alteration of agreements by court during lives of parties.

(1)Where a maintenance agreement is for the time being subsisting and each of the parties to the agreement is for the time being either

domiciled or resident in England and Wales, then, subject to subsection (3) below, either party may apply to the court or to a magistrates' court for an order under this section.

(2) If the court to which the application is made is satisfied either—

(a) that by reason of a change in the circumstances in the light of which any financial arrangements contained in the agreement were made or, as the case may be, financial arrangements were omitted from it (including a change foreseen by the parties when making the agreement), the agreement should be altered so as to make different, or, as the case may be, so as to contain, financial arrangements, or

(b) that the agreement does not contain proper financial arrangements with respect to any child of the family, then subject to subsections (3), (4) and (5) below, that court may by order make such alterations in the agreement—

(i) by varying or revoking any financial arrangements contained in it, or

(ii) by inserting in it financial arrangements for the benefit of one of the parties to the agreement or of a child of the family,

as may appear to that court to be just having regard to all the circumstances, including, if relevant, the matters mentioned in section 25(4) above; and the agreement shall have effect thereafter as if any alteration made by the order had been made by agreement between the parties and for valuable consideration.

(3) A magistrates' court shall not entertain an application under subsection (1) above unless both the parties to the agreement are resident in England and Wales and the court acts in, or is authorised by the Lord Chancellor to act for, a local justice area in which at least one of the parties is resident and shall not have power to make any order on such an application except—

(a) in a case where the agreement includes no provision for periodical payments by either of the parties, an order inserting provision for the making by one of the parties of periodical payments for the maintenance of the other party or for the maintenance of any child of the family;

(b) in a case where the agreement includes provision for the making by one of the parties of periodical payments, an order increasing or reducing the rate of, or terminating, any of those payments.

(4) Where a court decides to alter, by order under this section, an agreement by inserting provision for the making or securing by one of

the parties to the agreement of periodical payments for the maintenance of the other party or by increasing the rate of the periodical payments which the agreement provides shall be made by one of the parties for the maintenance of the other, the term for which the payments or, as the case may be, the additional payments attributable to the increase are to be made under the agreement as altered by the order shall be such term as the court may specify, subject to the following limits, that is to say—

(a) where the payments will not be secured, the term shall be so defined as not to extend beyond the death of either of the parties to the agreement or the remarriage of, or formation of a civil partnership by, the party to whom the payments are to be made;

(b) where the payments will be secured, the term shall be so defined as not to extend beyond the death or remarriage of, or formation of a civil partnership by, that party.

(5) Where a court decides to alter, by order under this section, an agreement by inserting provision for the making or securing by one of the parties to the agreement of periodical payments for the maintenance of a child of the family or by increasing the rate of the periodical payments which the agreement provides shall be made or secured by one of the parties for the maintenance of such a child, then, in deciding the term for which under the agreement as altered by the order the payments, or as the case may be, the additional payments attributable to the increase are to be made or secured for the benefit of the child, the court shall apply the provisions of section 29(2) and (3) above as to age limits as if the order in question were a periodical payments or secured periodical payments order in favour of the child.

(6) For the avoidance of doubt it is hereby declared that nothing in this section or in section 34 above affects any power of a court before which any proceedings between the parties to a maintenance agreement are brought under any other enactment (including a provision of this Act) to make an order containing financial arrangements or any right of either party to apply for such an order in such proceedings.

- 親責任を有する親の法的関係の変動に関する規定である子どもの利益に影響を与えるものである。

第 41 条 子に影響する解消、無効、別居判決に対する制限

第1項 離婚判決、婚姻無効、法的別居に係る手続きにおいて、裁判所は、以下の事項を検討するものとする。

a号 本条の適用される家族としての子がいるかどうかについて

b号 かかる子がいる場合、(この養育や福祉に関してすでになされた取り決め、または、将来なされる取り決めの観点から)裁判所が1989年子ども法による権限をかかる子に関して行使すべきかどうかについて

第2項 本条が適用される事例でも、以下の場合には、裁判所は、他の決定を出すまで、離婚判決もしくは婚姻無効判決を最終判決としない、または法的別居判決を認めないことを指示することができる。

a号 当該子に関して1989年子ども法による権限を行使することが、当該事例の事情が必要とされる、または、必要とされることになると思われる場合

b号 裁判所が当該権限を行使する立場にない、または(事例により)当該事例へさらなる考慮を払うことなしにかかる権限を行使する立場にないと思われる場合

c号 子の利益にとって裁判所が本条による指示を出すことが好ましいという例外的事情があると思われる場合

第3項 本条は、以下の者に適用されるものとする。

a号 裁判所が本条の条件に従って事例を検討する時に、16歳に達していない家族としての子

b号 16歳に達しており、かつ、裁判所が、本条が適用されるとする者と関係を有する家族としての子、

第41条 **Restrictions on decrees for dissolution, annulment or separation affecting children.**

(1)In any proceedings for a decree of divorce or nullity of marriage, or a decree of judicial separation, the court shall consider—

(a)whether there are any children of the family to whom this section applies; and

(b)where there are any such children, whether (in the light of the arrangements which have been, or are proposed to be, made for their upbringing and welfare) it should exercise any of its powers under the Children Act 1989 with respect to any of them.

(2)Where, in any case to which this section applies, it appears to the court that—

(a)the circumstances of the case require it, or are likely to require it, to exercise any of its powers under the Act of 1989 with respect to any such child;

- (b)it is not in a position to exercise that power or (as the case may be) those powers without giving further consideration to the case;
and
(c)there are exceptional circumstances which make it desirable in the interests of the child that the court should give a direction under this section,

it may direct that the decree of divorce or nullity is not to be made absolute, or that the decree of judicial separation is not to be granted, until the court orders otherwise.

(3)This section applies to—

- (a)any child of the family who has not reached the age of sixteen at the date when the court considers the case in accordance with the requirements of this section; and
(b)any child of the family who has reached that age at that date and in relation to whom the court directs that this section shall apply.

- 親責任が対象とする子どもの範囲を決める規定である。

第 52 条 家族としての子：解釈

第 1 項

本法において、婚姻当事者の一方または双方との関係では、「子」は、当事者の一方または双方の非嫡出子を含み、家族としての子は、婚姻当事者との関係では、

a 号 婚姻当事者双方の子、および

b 号 地方当局または民間機関により里子として措置された子以外で、当事者によって家族としての子として扱われてきた子をいう。

「裁判所（文脈から他の解釈ができる場合を除き）」とは、高等法院、または県裁判所が 1984 年 Matrimonial and Family Proceedings Act 第 5 部により裁判管轄権を与えられている場合には、県裁判所をいう

「教育」は訓練を含む

「扶養料の算定」は、1991 年子ども支援法第 54 条ならびに 1991 年法により効力を有している規則にいうものである。

第2項 本法では、

a号 「経済支給決定」、「定期および定期保証支払決定」、「一括支払い決定」、「財産調整決定」に関する関係情報は、本法前記第21条に従って解釈されるものとする。

aa号 「年金分割決定」に関する関係情報は、本法前記第21A条に従って解釈されるものとする。

b号 扶養停止訴訟および扶養に関する仮決定に関する関係情報は、本法前記第22条および第27条第5項に従ってそれぞれ解釈されるものとする。

第3項 疑義を回避するために、本法における再婚に関する関係情報は婚姻の無効または取り消しに関する関係情報を含む。

第3A項 本法ではシビル・パートナーシップの成立に関する関係情報は、シビル・パートナーシップの無効または取り消しに関する関係情報を含む

第4項 反対の意思が明示された場合を除いて、本法における諸条項に関する関係情報は、本法と本法以後に制定された諸条項による修正、拡大または適用される諸条項に関する関係情報を含む。

第52条 Child of the family Interpretation.

(1)In this Act—

“child”, in relation to one or both of the parties to a marriage, includes an illegitimate . . . child of that party or, as the case may be, of both parties;

“child of the family”, in relation to the parties to a marriage, means—

(a)a child of both of those parties; and

(b)any other child, not being a child who [F3is placed with those parties as foster parents] by a local authority or voluntary organisation, who has been treated by both of those parties as a child of their family;

“the court” (except where the context otherwise requires) means the High Court or, where a county court has jurisdiction by virtue of Part V of the Matrimonial and Family Proceedings Act 1984, a county court;

“education” includes training.

“maintenance calculation” has the same meaning as it has in the Child Support Act 1991 by virtue of section 54 of that Act as read with any regulations in force under that section.

(2) In this Act—

(a) references to financial provision orders, periodical payments and secured periodical payments orders and orders for the payment of a lump sum, and references to property adjustment orders, shall be construed in accordance with section 21 above;

(aa) references to pension sharing orders shall be construed in accordance with section 21A above; and

(b) references to orders for maintenance pending suit and to interim orders for maintenance shall be construed respectively in accordance with section 22 and section 27(5) above.

(3) For the avoidance of doubt it is hereby declared that references in this Act to remarriage include references to a marriage which is by law void or voidable.

(3A) References in this Act to the formation of a civil partnership by a person include references to a civil partnership which is by law void or voidable.

(4) Except where the contrary intention is indicated, references in this Act to any enactment include references to that enactment as amended, extended or applied by or under any subsequent enactment, including this Act.

なお、Family Procedure Rules 2010 (SI 2010/ 2955)の第 12 部は別に訳出してある。

1973 年婚姻事件法 : Matrimonial Causes Act 1973 (1973 c18)における「決定」(order)	
事項	該当条文
additional payments (attributable to the increase) : 上乗せ支払い (増額の場合)	35
financial provision orders : 経済支給決定	52
maintenance agreement : 扶養に関する合意	35
maintenance pending suit : 扶養停止訴訟	52

pension sharing order : 年金分割決定	52
periodical payments and secured periodical payments orders : 定期および定期保証支払決定	35, 52
property adjustment orders : 財産調整決定	52